

本年、【新入生前倒し(4~6月分)】を受給した生徒は、本申請はできません

残額の申請は、**専用の申請書**のみ受付です。(県内生:学校配布、県外生:結果通知時同封)

※本年4~6月分を他府県で受給した場合は必ず県担当課へご連絡ください。

申請書の書き方(表面)

＜専攻科＞
（通常用）

- 「**奈良県高校生等奨学給付金申請書**」の書き方と、記入上の注意事項です。
- 記入にあたっては、**黒字のボールペン**で記入してください。(通せるボールペンは使用しないでください。)
- 記入誤り等は、その部分を**二重線で消したうえで訂正**してください。(修正テープや修正液は使用しないでください。)

・申請者は、**生計維持者(父母)等**になります

・申請者は、生徒1名に対して、その生徒の父母等の**いずれか1名**を指定してください

※または【2】で選択した主たる生計維持者等の状況に則った者

・ここで記入していただく申請者は、「**口産振替申出書**」(申請者全員が提出)に記入いただく申請者と**同一人物**でなければいけません

※申請者:父の場合、母の口座は指定できない

【主たる生計維持者の所得の状況について】以下の①~④のうち、該当する番号の口には**チェック**してください

※②でやむを得ず1名として申請する場合は別途「**単立書**」の提出が必要です

※生計維持者(父母)等のいずれかに、**昨年1月1日時点で海外在住により国内に住居がない者がいる場合は対象外**です(ただし課税証明書が発行出来る場合を除く)

※主たる生計維持者2名で単身赴任により世帯分離している場合も**父母2名分の課税証明書**等が必要です

※本年7月1日以前に再婚し、本生徒と養子縁組をしている場合、その者は主たる生計維持者等に含まれます

第1号様式(第5条関係) <本年7月1日時点の状況を記載> 私立学校

奈良県知事 院 **記入例** 申請日 令和7年 7 月 23 日

令和7年度 奈良県高校生等奨学給付金申請書(専攻科)

奈良県高校生等奨学給付金の給付を受けるため、関係書類を添えて申請します。

申請者(保護者等) **奈良 太郎** 高校年等との関係 主たる生計維持者(父母) / 主たる生計維持者(父母以外)

申請者の住所 **〒630-8501 奈良市登大路町30 奈良県 奈良市 登大路町30**

対象となる生徒 **奈良 都子** 生年月日(高生) **2006年4月15日(19歳)** 入学年月 **令和7年4月** 就学支援金申請(受給)の有無 有 / 無

在学する学校名 **●●●●●高等 4(1) 年 1 組 (出席番号) 18** 学校の種類・課程・等級 **看護衛生** 学科 **看護衛生**

転学・通学等がある場合 学校名 年月日 学校の種類・課程・等級 在学中に給付金受給した回数

過去の高等学校等に在学した期間 学校名 年月日 学校の種類・課程・等級 在学中に給付金受給した回数

【1】申請区分について

申請区分を申請区分に基づき選択するものを選択(☑)してください。(1箇所のみ記入してください。)

申請 番号 区分

① 主たる生計維持者(父母)等全員の道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額の合計が**0円(非課税)**である世帯【支給額:10,420円】

② 主たる生計維持者(父母)等全員の道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額の合計が**105,500円未満**である世帯(①以外)【支給額:10,420円】

③ 扶養している子(子孫扶養)が**1人以上いる世帯**であり、主たる生計維持者(父母)等全員の道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額の合計が**105,500円以上284,500円未満**である世帯【支給額:10,420円】 ※扶養申立書の提出

【2】主たる生計維持者等の所得の状況について

次の者の課税証明書を提出します。①から④の中から、**該当するものを選択(☑)してください。**

① 主たる生計維持者(父又は母)2名分 ※配偶者が扶養控除により、非課税の場合も名分の課税証明書の提出が必要(省略不可)

② 主たる生計維持者(父又は母)1名分

③ 主たる生計維持者(父母以外)1名分

④ 主たる生計維持者(父母以外)1名分

課税証明書を添付する主たる生計維持者の氏名及び生徒との続柄(☑に印付した場合は不要です。)

氏名	生徒との続柄	氏名	生徒との続柄
奈良 太郎	父	奈良 咲子	母

【3】確認事項

下記の事項について確認の上、5に受給回数記入してください。

1. 本申請書及び添付書類等の記載内容に相違のないことを誓約します。
2. 申請に当たり申請書類に虚偽の記載を行うことにより、本来受給することができない給付金の給付を受けた場合、給付決定を取り消し、奈良県の求めに従い、その全額を返還しなければならぬことを承諾します。
3. 私は、今年度、対象となる高校生等※1について、**奈良県以外の施設に高校生等奨学給付金の申請は行っていません。**
4. この申請の対象となる高校生等は、児童福祉法による**児童養育施設(児童養育又は特別育成費(母子生活支援施設)の高校生等を除く)の支給対象ではありません。**
5. 高校生等※2について、高校生等奨学給付金をこれまで受給した回数は、**()**回です。

※ この申請書の対象となる高校生等※2のことです。

上記事項をすべて確認の上同意します。 (☑を入れてください)

※続けて裏面の記入が必要です※

記入例内の赤字部分はすべて記入必須項目です

※本年7月1日時点の状況を記入
※連絡先は必ず1つは指定して下さい

【就学支援金申請(受給)の有無】
国の授業料支援の補助金の申請について、申請中を含みます。

【過去の高等学校等における在学期間】
※平成26年以降に入学後、転学・退学等により現在の学校と異なる場合記入

【生計維持者の所得の状況について】
課税証明書等を添付する
＜生計維持者の氏名＞＜生徒との続柄＞を記入してください。

【確認事項について】
1~4に記載の項目について確認していた
だき、口には**チェック**してください

5. 給付金の受給回数は、これまでに【**専攻科**】分で受給された回数を記入してください
(今回初めての申請…「0」回)
回数については、不明な場合は空欄可
※4については里親を含みます

※1~4について**同意できない項目がある場合は申請できません**

申請書の書き方(裏面)

【チェックリストについて】
・提出前に、対象であるか、記入・添付漏れがないか等について確認してください。(任意)

【学校記入欄】 **記入例**

この欄は**学校に記入・証明してもらう必要があります。**

※**県外生**は日付の記入及び校長印が押された状態で提出してください。

※本欄が証明されている場合は、本欄の記入に代えて、別途、学校証明書を提出していただくことも可能です。

学校担当者 問い合わせ電話番号

【学校記入欄について】
・学校記入欄の日付が、**本年6月30日以前である場合は、受理できません。**

※本用紙の【学校記入欄】を使用しない場合、学校様式の「**在学証明書**」の別途提出が必要です。

任意チェック欄:提出前に確認してください

対象要件チェックリスト

- <住民税所得割の合計が0円(非課税)の世帯または105,500円未満の世帯>または<多子世帯かつ住民税所得割の合計が105,500円以上284,500円未満の世帯>が本申請の対象です
- ※本年、新入生前倒し申請を受給した場合申請不可、専用申請有り

記入事項チェックリスト

- 申請年月日および各項目について記入した
- チェック欄(1)~(3)の口)にチェック(☑)漏れがない
- 「本用紙」の申請者と「口産振替申出書」の申請者および口座情報は同一者になるよう記入した
- (県外生のみ)【学校記入欄】に在籍校で証明をもらった

添付書類チェックリスト

- (全員) 所得要件確認書類:「課税証明書」または「特別徴収税額決定・変更通知書」、「納税通知書」
- ※申請後、本年度分の税の更正がある場合、更正後書類での再審査が必要です。
- 県内生は学校担当者へ、県外生は県担当課へ速やかにご連絡ください。
- (全員) 「口産振替申出書」
- (多子世帯のみ) 「扶養誓約書」
- (県外生のみ) 「在学(籍)証明書」【学校記入欄】を使用しなかった場合